



薩英戰爭新聞
之三年
字本

西垣文庫
文庫10
7300



文
文
薩英
戰
爭
新
聞



文庫10
7300

日本之交易ニ關係セル神奈川開板ノ別段新聞百
二十年八月廿六日即我
文久三年癸亥七月十三日 薩長以鹿見鳴ニ於テ英國ノ艦隊
戦争ニ及ヒタル諸事件並項我軍ノ最モ威スル所ニシテ
交易會社其戦争ノ便信ヲ待兼タル故ニ定式ノ新聞
紙開板スル事ハ一兩日延ビテ此別段際要ナル新聞ヲ
開板スル事ニ至リ是レ已ク得サルニ出ル事ニシテ實ニ當然
ノ事ナルベシ

鹿兒島戦争

西四所藏

今茲ニ記ス英國ヨリ薩上ニ詰問シタル始末ノ事件ナリ
 但シ近頃嚴重ノ固メタル鹿兒島ニ在ル外ノ君并ニ不幸ニ過
 ル住民数千ノ人若シ此後ニ至リテ我兵カニ堪ル事ヲ得ルニ至レバ
 我軍又リテ困難ヲ受ル及フヤ今義ト理ト兼具セシ盛戦ニ
 於テ勇闘シ死セル者ホノ朋友ノ義ヲ悲傷スルハ勿論我軍亦
 大ニ其ヲ悲シト雖此戦争ノ始終觀察シ我損亡ヲ以テ敵ノ
 損亡ニ比スレハ甚クシ其功績亦意外ニ出ルヲ以テ少シク心ヲ慰ム
 ルニ足ル是ノ如ク放蕩ニシテ且ツ無教ナル讐敵ノ所行ハ東方
 人ノ支那日本^案ヲ或レシ縦ヒ當今ノ勢實ニ此ノ如ナリト雖トモ今
 ヲリ後苦シムヲ悔ヒ其非ヲ改ムニ至リ時決人亦直ニ伶俐ノ人トナラシ
 ハ敵ヲ疑フヘキニ非ス是^案ノ支我^案亦大ニ希フ所ナリ但シ今度

西四所藏

敵ノ暴業ニ自分大ニ損耗ヲ招キ故言本ヲ提督ヨリ
ノ名ト曰ツ具船隊ノ名大ニ盛ナルニ至レリ英國船隊第一等
頭タル提督ヨリテ運運ヲ我軍英國政府ノ為ニ祝スルナリ
具勇猛銳敏ニシテ最モ烈ハキ敵砲ニ向ヒ且ツ惡シキ天氣ノ
機會ニ乘レテ戦セタルハ我兵東方ニ於テ海軍ノ勢ヒラ頭ハシ
名譽ヲ得タリト云フヘシ我軍戦タル模様ヲ諸船同名ニ人當
頗ル此提督ノ勇猛銳敏ナルヲ賞美シテ此將ハ既ニ以前ノ斯
ノ如キ偉光ヲ顯シタル事アリト書テ大ニ之ヲ崇敬ヤリ我軍
亦大ニ是ヲ喜ヘリ

異國ニニストルヨリテ船隊ノ全權ヲ握リテ本月廿六日
當港ヲ出帆シテ鹿兒島ニ趣ケリ但シ夫ヨリ廿日ハ我軍
具戦艦ノ事ニ就テ何支モ聞サリ方交易蒸気船一二船追ハ

上海ヨリ當港ニ到着シタル故ニ此蒸気船具海難ヲ過ルトキ有
船隊ヲ見受タリト云支ヲ承知セリ

又當月廿日ヨリモラト船到着セシ故以船中ノ人ヨリ稱キ新聞ヲ
得テ大ニ感スル支アリ是故ニ我軍速ニ之ヲ同板シテ世ニ布告セ
ント料リレニ右ノ船未着ヨリ一時ヲ過サシテ又最モ所要ナル報
告ヲ得テ之ヲ別段ニ同板スルニ至レリ此支我軍惣會社中、大
喜悅ト云ハレ

我會社、鹿兒島ニ趣ケル者ヨリ差越シタル報告、容子ニ依レハ
英ノ船隊社鹿兒島ニ趣ケル鹿兒島ニ趣ケルニ就テ種々ノ美談モアル様
ナレ速ニ且ヲ世ニ公布セシ支ヲ大ニホレ居レリ
鹿兒島ト云ルハ鹿兒島ノ樓止スル島ト云事ナリ何故ニ如此名ケタルト
云フニ古昔其近辺ニ鹿兒ノ盛ニ居タルヲ以テナリ

本月十日^{我六月廿七日}午後我船隊市街ヲ距ル南八里ヲ隔テ碇泊
セリ其碇泊形状ハ港ノ圖ヲ見テ知ヘシ又十日に至リテ船隊港ヲ測量
スル容易ナリシカトモ其深サ大ナル故ニ碇泊處ヲ探ルニ数丈ノ綱
ヲ用ヒテ遂ニ市街ニ近ツキタレトモ其甚タ深キカ故ニ碇泊ノ妨トナリ
タリ但レ海岸最近ノ処ニ数隻ノ日本船碇泊セリ尤モ其内ニテ
最大ナルモノハ琉球船ナリ。英國ノ船隊ハ水曜日ノ朝半八時半
過^{我五時}碇泊^頃投^意船^ニ任^セテ碇泊シタル間モナク薩^ノ役人
ニ三輩来リテ英國ノ船隊ハ何故アリテ此処ニ来タルヤ且ツ外國人
ハ何ヲ要スルヤト尋問シタリ是ニ於テ答ハレニルハ無ニ日本語知
蘭語^并英國^等ヲ認メタル英國ノ信向書ヲ此役人ニ渡シテ之
ヲ鹿児島ノ重役ニ達シ且ヨト亦ハタリ但レ之ヲ渡ストキ且答
書ハ十三日^{我六月廿九日}午後第二時^頃我^時追^ニ差^越スヘシト云々

モ云贈^{レリ}然^レニ十三日^頃到^リテ午後第二時^頃我^時追^ニ差^越スヘシト云々
席ト称シ衛士甲中人ヲ率ヒテ投^督船ニ来レル是レ蓋シ戦争ノ
以前ニ投^督船ノ容子ヲ探索セントテ多人数ヲ率ヒ来リタル者ノ
ラン然^レニ右重役ノ跡ヨリ一隻ノ船ニテ使者来リタルハ重役ノ
者ハ立歸^{レリ}但^シ此使者来ルト直ニ事ノ模様愛シト見ヘムヲ立
歸^守衛士一同此船ニ乘リ移ルヘシト命^シテ立歸^{レリ}然^ル
ニ又使者何南心ニ押^シ更^有ルニヤ暫クの間ハ答書ヲ差出スヘキ
ヤ不^レ考^ヘ居^ル体ナリヤ
此夜亦八時^頃我^時追^ニ差^越スヘシト云々
薩^ノ役^及上^ニ中^執政^ノ書翰ノ日本語認メタル者ヲ召^シテ
ニ^渡シタリ此書ヲ裁^裁叙^{スル}ハ多少^ノ時^刻ヲ費^{スル}故ニ右ト書ニ
就^テニル存^寄スルニ已^ラ得^ズテ翌日^頃追^引スルニ至^{レリ}備

其後下川此書ヲ見ルニ其中ニ認メタル趣意英國ノ詰問書
ニ對スル尤不當ナルモシテ頗ル重大ナル事ト見ヘタリ諸其習
ニ至リテ前日ノ答書ヲ受取ラントテ薩摩ノ役人又船ヲ乘リ以
故ニ此役人ヘモ前日ノ答書翰重クナレ華ノ事ヲ屢申聞ケ
此後此船ニ乗ル寸ハ必和聯^睦シ旗ヲ具船ニ建テ来ルヘト告ケ置キ
タリ。我輩薩摩ノ答書向テ茲ニ記載シテ者官好新ノ意ヲ
喜シメシト故スト雖モ未メ是ヲ得ケルヲ以テ之ヲ他日ニ送リテ
唯人^{執政書翰中}ノ^{大畧}ヲ茲ニ載ス
薩摩ノ執政書翰中ニ認メタル所蓋シ左ノ意味ナルトシ
今度貴國ヨリ贈ラレタル詰問書ノ事ニ就テハ幕府ヨリ我
高貴ノ君^{薩摩}ニ報告セラレモ莫^ク交シテモナレ^{償金催促ノ}
事トモ且下ホ是ヲ幕府ニ申スラルヘシ具所以ハ我君ハ幕府閣

老ヨリ詰問ヲ受取ルニ非レハ此如キ事^濟ニ就テ彼是取計フキ
莫^クハ^ハ日本ノ法度ナリ且ツソカドソナ^{東海道}ニ殺害シタ
ル者ノ事ニ就テハ我軍能ク是ヲ知ル魚尾具時島津三郎等
ヲ如何取計ラセタルヤ否ヤ我軍是ヲ知ラス但シ日本ニ於テハ故ク
シテ人ヲ殺セシ者ハ嚴科ニツセシハ勿論ナルカ故ニ速ニ其者ヲ穿
鑿セシトカヲ盡シタレトモ如何シテモ是ヲ尋出ス莫^ク難シ是^事ニ就テ
外國人ヲ欺困スル意ニ非ス若シ其罪人ヲ取押ル事^直其若
ク引出シソカドソヲ殺害シタル者アリトテ提督ノキ^候モルヘシ
且下^弊ヲ欺困スレハ我君ノ英名ヲ汚スル故變シテ右様ノ事^并
ナル也然レ我君ハ大君ノ外國人ト取詰レタル條約ニ閱ラス右ノ
條約 權現極ノ法度ニ背キタル事^ハ是ノ如キ場合至リテハ
唯大君一人ニテ其処置ヲスルヘシ何リ大君古来ノ法度ニ背ヒテ外國人

日本渡来スルヲ許容レ且ツ自在ニ歩行タルヲ許シテ日本諸侯
ノ通行ヲ妨ケルナリ若シ是ヲ久ク許シクワ寸ハ遂ニ日本諸侯
旅行スル事能ハサルニ至レシカレトツシ果テ襲ヒタルハ日本ノ法許
ニ背キ名事ニ非サルカ故ニ我君ノ過キハ非ルナリ且ニ依リテ考レハ
豆下ホノ詰問トシテ採用スヘキ莫ニ非ス是ヲ以我ホ察スル以薩
摩ノ答書ハ嚴重大ナル事ニテ此支遂ニ大戦争ヲ起スノ源
ニナリ夫ヨリ又大船八隻ヲ焼打スル莫ニ至レリ借具内ニ三隻外
國製造ノ蒸気船ニシテ砂癩等ノ如キ高價ノ荷物ヲ積
テ名者ナリ共又二三ノ火藥藏ヲホ飛ビ屋場敷トテ破壊
シ殆ト鹿見島ノ市街ニアル諸産物及ヒ其製造所鑄造
栗具外城郭近キ悉ク火燼トナセリ此破壊セ諸物件等ノ失散
量ハカラス又戦争中市街等ニ於テ死傷セハ其数奉テ数テ可

カラス

薩摩ノ士提督ノ船ニ乗リテ云ケル我上役者ヨリ全權提督
等ニ全權招待スルニル等ヲ招待スルノ役ヲ蒙リ殿堂又ハ城中
ニ招キ薩摩ニ臣シタル詰問書ノ取扱ヲナスヘキ旨ヲ命セラレタリト
云ヘリ然レ此支終ニ全ク空クナリ後ニ考レハ此支恐テク提督
并全權招待スル等ヲ陷牢ニ陷シ入レトスルノ策ナルヘシ若シ
提督ニ此策中ニ陷リテ其招ニ應レ上陸スルハ釣橋ヲ搭
シテ且ヲ生捕ルヘシ其時船隊大ニ憤テ市街ニ向テ砲突セ其
生捕リタル者ノ首級ヲ刎又ヘシト船隊中送ルハ必然ナルベシ
且此策成就シタルハ其生捕ヲ霧島ニ鏖鎗スルハ霧島
ト云ハ堅固ニ備ヲエタル薩摩市街ノニシテ固固五十里ノ
島ナリ

次ニ記載セル事件ハ我會社船隊中ニテ記セル事ナリ最
勤功ヲ顯ハシタル善良ノ士バルルガ我軍ノ為ニ設ケタル
繪圖アリ之ニ照レテ以テ見ル事ハ悉ク了簡スルニ至ル我會社
リ告ル新聞

一十八百六十二年八月十九日我隊久三津豊後海ニ記

弟八月十日^{我六}月^七午後弟三時十九分^{我八}時^過船隊鹿兒島港ニ
入ル此港ハ最モ好キ港ニシテ港口七八里ノ潤キアリ諸陸場内
我見殘セシ者ハ唯三ナリ夫ヨリ午後八時九十分^{我九}時^過市街ヨ
リ南ノ方ニ九八里ヲ隔テ深サ十七尋ノ処ニ碇泊セリ是ヲ測量
大ニ難シトシ^{我十}日^{我十}午前弟七時^{我十}時^過揚テ鹿兒島ノ中
街ニ向ケ進ミ其深サ二十尋ヨリ十五尋ノ処ニ至リ島ト市街南
方ニアル岬ト同ヲ過リ我船ノ右側ニ見ル河ヲ過キタリ午後

弟八時四十分^{我夜}五時^過市街近ク二十尋ノ処ニ至リ市街ヲ見ルニ備
ヲ嚴重ニ市^{我夜}テ陸場ニ兵士充備シテ薩摩ノ旗章ヲ懸ケ居
タリ其陸場ハ市街ノ前面ニ係列シ其下ニ數隻ノ大船並テ那船
五隻ヲ繫キタリ我等市街ヲ離レズ碇泊ナシタル後薩^{我夜}ノ士
二人端船ニ乗り来リタルニヨリテ詰問書ヲ具者ニ渡シテ弟十三日
^{我六}月^九日^{我九}午後弟三時頃^{我八}時^過追々来ルヘシト爲来レタリ同日午後弟
三時^{我八}時^過一人^{我八}時^過執政次第ノ者一隻ノ端船ニ乗り来リ衛士四人ヲ卒
ヒタルカ其衛士悉ク寄り集リテ待テ乘船シタリ其後暫
クアリテ又一隻ノ端船来リケレハ執政次第ノ者ニケルハ右書中
ニ過失アレハ我今上陸シテ再ヒ来ルヘシト云テ立歸レリ然レモ何時
頃ニ右ノ答書ヲ持来ルト云^{我夜}告ケスレテ歸レリ是ニ依テ我軍
直ニ其變アラシ事ヲ察シ大砲ノ備ヲ立テ翌日午後弟八時近

二戦争支度ヲナタリ又右執政次席ノ者提督ノ船ニ来リテ
書簡ヲ送りカトモ日本語ニテ読メアレハ之ヲ翻訳スルニ数時弄ヲ
費スヘキニ依テ信託ニルハ其書翰總當ナルヤ否ヤヲ知ラサル
カ故ニ此返答ハ昨朝受取りニ来ルヘシト答ヘタリ

十曾我七月朔日午後凡ハ八時三十分時迄立頃前日薩摩ヨリ贈リタル
書翰返答ヲ受取ラントテ端船一隻来リ是ニ於テ英人提督直ニ

其答書ヲ贈レリ蓋シ此答書薩摩ヨリ贈ル書翰ノ趣意ノ是
穂ナラサル者ニ述タル者ナラシ具故ニ提督ハ其書翰ヲ持来ル

者ニ此以後ハ必和睡ノ旗章ヲ立テ来ハ変レテ薩人トハ談判
スカラスト云ヘリ○午前十時時我四時頃提督ハハルリテ誘

引レ砲船ハホックニ乗リ己ニ二十日我六日港内ニ見受タル螺
磯蒸氣船三隻ヲ質物ニ取ラント欲シテ港内進出行ルニ右

ノ蒸氣船ハ果シテ猶其処ニ碇泊シテ居タリ是ニ於テ我船ノ
碇泊処ヲ探ラシトテ港内ヲ過リケルニ何レ処モ皆四十尋以上ノ

深サノミテ岸ヲ距ル一ヨ百ヤルト我三奉ノ度ニ至ルサレハ三十三尋ノ

深サノ碇泊処ナレ且ニ於テ提督ハ午後第三時頃我本船ニ還リ号
令ノ旗ヲ揚テアルキテ船トスボルス船ヲテ船ハル船及

ヒホックノ船ノ船將ニ指示セハ是恐ラクハ港内ノ蒸氣船ヲ
奪ヘシトノ号令ナルヘシ且ニ於テ午後第七時三十分我六時ニ至ラ

ス我船ニテ蒸氣船ヲ奪ントテ進帆セリ
十廿日我七月二日午後第四時三十分時頃我船ニヨリ本船使ヲ贈

テ蒸氣船ヲ奪シ為ニ昨日港内ニ進メリト云ヌヲ報告シタ
リ○午後第十時頃四所ニユクテ船ハ薩摩ノシラスト船ニ綱ヲ

掛ケアルキテ船ハ薩摩ノレルシヨルシレイ船ニ綱ヲ掛ケレイスル

船ハ薩摩ノ艦ヲシト船ニ網ヲ掛ケタリ但シ午前迄此船ニ水夫、
乗組タルヲ見クルカ此者共陸上ニ送リタル者ト見え又其外三個
ノ皇場ニ防禦ノ兵見ヘタリ但シ薩摩ノ艦ニ乗組ル艦ニ乗組
ミタル士官ノ内兩人ヲ召捕メリ其中一人ハカシト稱スル醫人ニシテ
相應ニ英語ニ通セル者ナルカ先年日本使節ニ從ヒテ歐羅巴ニ
至リ當今ハ薩摩ノ艦ヲシテ船將ノ役ヲ勤メタル者又一人ハカシト
稱シ薩摩ノ艦氣船隊第一ノ船將ナリ此兩人ハ受シテ我ニ敵
スル莫ナレ其船ヲ奪ハシタル我艦ニ乗リ移リタリ是蓋シ薩摩
ノ艦ニヨリハ寧英國提督ノ手ニ属スルヲ欲スルナリ借此兩人モ
本月廿四日^{七月}夜半過此兩人ヲ神奈川ニ上陸サセタリ借夫
ヨリ汎追、烈シクシテ暴風雨ノ激アリ且汎ハ南東ノ風ニテ午後
潮水減少シタル時薩摩ノ突出セル皇場ヨリ相圖ノ大砲ヲ發

放スルト忽チ諸皇場ヨリ我艦隊ニ向テ実弾或ハ破裂丸ヲ射
突シケルカ実弾ハ我頭上ヲ直ク飛過キニ破裂丸ハ我近邊ニ破裂
タリ且敵ノ白砲ノ破裂丸ヲ以テ皇場ニ對セル我艦隊破砕セン
ト欲スニ有レシ受シテ其功ヲ遂ル莫能ズ夫ヨリ汎漸シ暴烈トナリ
ケレハ提督エツテ艦レイスホルス艦ホニ相圖ヲ示シテ既ニ
奪ヒ取リタル蒸氣船ヲ燒テ我本艦ノ場所ニ来ルヘシト号令セシカ
ハ右ノ艦共ニ奪ヒ取レル艦ニ火ヲ放ケル右ノ艦ニ忽チ火ヲ射
タリ且此艦ヲ燒テ其實情ハ實情ニシテ如キ場合至
リテ且ヲ燒テ提督ノ任ヲハナリ此蒸氣船ノ價ト荷物ヲ除テ三
十萬元ノ價ナリ○午後第十一時五十分^{我九時}ニ破ラ揚ケテ戦争
ノ列ヲ整ヘタリ其後又午後第二時十分^{我八時}ニ到リテ第八号ノ
皇場ニ向テ自在砲ヲ以破裂丸ヲ放発セシニ能ク其功ヲ賞セリ

又午後一時十分^我我船右側ヨリ臺場ニ向ケ実弾破裂
九ヲ放発シタル^又其功ヲ頭ス也敵ヨリ放発セル^実九破裂九ハ
我舟ノ直傍ニテ破裂シ我舟ノ綱具ヲ破リ切りタリ播上ニテ
臺場ヨリ出ル^三具^也也スル人ニ既ニ去リタリ我軍ノ砲発ニ敵
大砲四挺ヲ屋上ヨリお落シタリ且ニ於テ我軍烈火ノ吹ク乗
レテ陸ニ向ヒ大ナル臺場ニ近ツキケル砲烟臺場ヲ覆ヘタル故ニ陸
ヨリ我船迄ノ距離何程ナルヤ是ヲ測リ知ル^一能ク^察察スルニ
ソ七八百ヤルドナルベシ午後第一時五分^我我船將士ヨリ
并ニ指揮官ウ井ルモットノ三人櫓上ニ於テ同一弾丸ニ中リテ
死ス此時提督并ニルル兵ハ船將及ヒ指揮官ト共ニ櫓上ニ在
リレカ幸シテ具^危危難ヲ免レタリ提督ハ此危難ノ場合ニ變ト
虽^氏一向ニ怯怖^色色ナク沈着シ居ルヲ以テ予生ノ氣質ヲ顯

セリ然レ^氏事終リタルノ後^至至リテ戦^辛辛ノ時傍ニテ戦死シタル勇
士^ホホノ事ヲ想ヒ出シテ大ニ^感感傷セリ^十十ニテ^一一ニシテ^九九ノ
申^板板ト下ニ備タル^船船ヲ^三三ノ^大大擧^船船ヲ^後後ニテ^一一ニ
ヲ見タリ^第第七時^我我夜^六六時半^時時ニ至リテ^ホホフク^船船テ^琉琉球^船船^女女^長長ヲ^燒燒キ^弟弟ハ
^時時^凡凡^我我^夜夜^五五^時時ニ至リテ^薩薩摩^所所^燒燒ケタリ^此此時^川川^裂裂シク^雨雨降リテ
我船^破破^碎碎ニ^ツツ^レレ^タタ^尼尼^物物^之之^カカ^為為^ニニ^流流^ササ^ルル^カカ^故故^ニニ^ホホ^レレ^クク^蒸蒸^氣氣^ヲヲ^発発^スス^ルル^ヲヲ
^尚尚^メメ^タタ^リリ^夜夜^半半^ニニ^至至^リリ^テテ^市市^街街^鑄鑄^造造^所所^並並^船船^ノノ^火火^突突^猶猶^未未^盛盛^ナナ
キ^十十^六六^日日^即即^我我^七七^月月^午午^後後^第第^四四^時時^我我^市市^街街^並並^鑄鑄^造造^所所^猶猶^火火^々々^{アリ}アリ^船船^ハ
水ニ没セル^所所^迄迄^燒燒ケテ^陸陸^地地^ニニ^吹吹^上上^レレ^タタ^リリ^弟弟^七七^弟弟^八八^臺臺^場場^ノノ^諸諸^物物^洋洋
ハ破壞セリ^弟弟^上上^時時^我我^四四^船船^將將^士士^クク^招招^揮揮^官官^ウウ^井井^ルル^モモ^{ット}ト
ヤルトク^スス^ミミ^{ット}ト^ガガ^ルル^キキ^ーー^ソソ^トト^セセ^イイ^キキ^ヨヨ^シシ^ララ^ンン^キキ^ヨヨ^シシ^ホホ^ツツ^キキ^ンン^スス
ハ^ソソ^ッッ^シシ^ンン^クク^ホホ^ノノ^死死^屍屍^ヲヲ^水水^葬葬^セセ^リリ^此此^人人^ハハ^皆皆^前前^日日^鹿鹿^見見^島島

ノ戦争ニテ戦死シタル者トモナリ市街并ニ鑄造所午後ノ至ル迄猶火空燒ス午後第三時三十分^{凡我八時}我艦ヲ譽ケ艦隊ヲ進ミ再ヒ戦争ノ用意ヲナシ薩摩族ノ家敷并ニ市街ニ破裂弾丸ヲ放テ兩岸ノ臺場ニ向テ放テセリ第三時四十分^{凡我八時}并ニ十号ノ臺場及ヒ突出シタル臺場ノ火藥庫破裂シ其飛屑島ノ臺場列レリ此処ノ臺場并ニ突出シタル臺場ヨリ艦隊ニ向テ放テ弟五時^{凡我七時}至リテ止マリ市街ノ次第ニ空燒シテ薩摩族ノ屋敷モ燒ケ其余ノ家屋ノ南方ニ及ヘリ弟五時三十分^{凡我七時}我艦七島ニ至リ其處ノ深サ測ルニ八尋アリ此島ヨリ市街ノ南方追凡六里余ヲ弟九時三十分^{凡我七時}止マリ^{凡我七時}引^{凡我七時}ノ引ト云人前日ノニテ死シタリ

十七日^{我七月} 午後三時^{凡我八時} 艦隊皆破ヲ揚ケ港口ニ進テセリ

此時市街猶空燒シアリテ十四里ヲ距リテ之ヲ見ルニ猶頗ル盛ナリキ

死傷者ノ表

ユールヨリ云 船中死者九人 手負二十三人 戦後ノ死者一人 重傷者一人
 ○ハール、船手負七人。アクエテ 船死者二人 手負四人
 口^口テ^テト^トヲ勤ル人

レノスホルス 船手負三人。ハルシウス 船死者一人 手負九人
 船手負二人。ホツク 船死傷ナシ

總計死者十三人 手負十五人 戦後死者一人 弟八月十五日

我七月 戦争ノ時^用タル薩摩ノ大砲負數

弟壹ノ臺場

三十三斤又二十四斤大砲
 白砲

* 八挺
 二挺

第二ノ臺場

十八斤大砲

臼砲

右才下第二中間

野戰砲

第三ノ臺場

臼砲

第四ノ臺場

大砲ノ負數未詳

第五ノ臺場

八十二斤大砲

三十二斤又二十四斤大砲

野戰砲

第六ノ臺場

十八斤大砲

第七ノ臺場

十二斤大砲

三十二斤大砲

野戰砲

第八ノ臺場

十二斤大砲

三十二斤大砲

十八斤大砲

臼砲

* 三挺

其負數未詳

* 七八挺

五

三挺

* 二挺

* 九挺

* 三挺

* 三挺

* 三挺

* 五挺

二挺

* 一挺

* 五挺

* 一挺

* 一挺

第九ノ臺場

野戰砲車ニ載タル十八斤大砲

四挺

第十ノ臺場

同上ノ砲

* 三挺

第十一ノ臺場

八斤ノ大砲

* 二挺

三十二斤大砲

* 四挺

第十二ノ臺場

西方ニ向ケテ備ヘタル十八斤大砲

* 三挺

東方ニ向ケテ備ヘタル十八斤大砲

三挺

三十二斤大砲

我軍遠見ノ数ヘタル大砲等ノ總計

大砲

五十五挺

臼砲

壹挺

野戰砲

十三挺

右總計

六十九挺

我軍生捕タル日本ノ士官兩人ノ士ケルハ

臼砲

七挺

大砲

七挺

上ニ挙げ所見ノ六十九挺ヲ之ニ加セ共ニ統計ハ十八挺ナリ* 符号ヲ着ク
大砲數負數ハ我士官未同撃シテ數ハ各其符号ナリ其薩戸、
海軍、屬セ日本士官兩人ノ百後ル負數ニテ其兩人薩戸、
氣船位ノ千是千船ニ在リ投擲ノ船ニ乗ルリ
臨時新聞ヲ開板ス會社ヨリテ報告左ノ如シ

一千八百二十三年八月廿六日
鹿兒島於テ記ス

本月六日熾明船隊極演ヲ出帆ス其船ハ英國王ノ御用ニシテ
ハール船ヲクソト船ハルカス船ハリスルカス船ハルカス船ハ
ホッケ船ト稱ス砲船ナリ本月十日朝右ノ船ノ鹿兒島ノ市街ヲ
隔テ夜泊セリ鹿兒島ノ薩ノ度ノ居所ナリ此船ハ夜泊ノ後間モ
ナク役人数輩キリテ英國ノ信託ト應接ニ及ヘリ英國ノ諸國
書ヲ具役ニ贈リシハ其役人右諸國書ノ取計ニ方内相會リ
之ニ依テ役人共我ニ迷惑セザルニ思ヒケレハ諸船ハ霧ヲ卸シ
テ港内測量ノ為ニ薪方ニ出行キ夕景ニ至リテ船將引スルハ
士官ハ一兩輩ト共ニ日本蒸氣船ノ港内ニ夜泊シテ見タリ十三
日我六日重役守衛ノ兵卒四十人ヲ率ヒテ時ヲ過サズ歸リ
是ニ依リテ察スルニ其卒種ナラサル事ハ時ニナリ如何トナレハ我船隊

其大砲ノ備ヲ立ビナリ讐敵ニ向ヒ爭戰ノ用意ヲナシ全曜日七月
提督ハホッリ船ニ乘リ移リ日本蒸氣船ヲ貨物ニ為シカ為ニ
港内ニ進ミ入り土曜日七月ノ朝朝ニ右ノ蒸氣船ハ奪取セリ午
時兩岸ノ諸屋場我船ニ向ケテ放砲シタリハリスル船及ヒール
船ハ忽砲ヲ開テ之ニ応セリ然レニ提督ノ船ハ凶烈シク浪高サカ
故ニ未タ砲ヲ卸サス則量ニ時ヲ費シケレハ砲ヲ開テ之ニ応スル所カ
遅シタリ此我ナル暴風若我輩ノ為ニ其不便利ナリアルモ大變
レニスホルス船ハ放砲ノ用意全便スルト忽チ右ノ蒸氣船三隻
ヲ取囲ミテ之ヲ焼打シタリ午後第二時我ハ我船ニ續テ戰爭
ノ用意ヲナシ提督ハ何処ニテ戰フトモ必不勝我ヲ得ヘキ方策
ヲナセリ此提督ニテラスハ戰時ニ臨ニテ恐怖セスニテ平意ニ沈
志スル莫ク能ハサルナリ提督ハ船隊中ノ貴重ノ船ヲ港ヨリ

ヤルトノ處ニ備ヘリ此船四方三時ノ間動クズニ居リ其時日本
人、其屋場ノ大砲ヲ毎テ奇ク然レモ其者其処ニ在ル間放
銃頻リニテ其放銃甚ク善法ニ合ルカ故ニ我カ為ニ大ニ妨ケト
ナリ就中我前隊ノコトヤリテ船ハ其彈丸ニ中リテ大ニ湯害
ヲ得タリ弟二時三十分我ハ至リテ其丸并ニ破裂丸兩發ノ
如ク我船ノ近處ニ飛来リテ船將キヨスリ及指揮官ウヰルクモ
ツト、同一ナル破裂丸ニ中リテ死セリ又一丸ハ甲板ニ落テ爰ニ
居合タル士官并大砲掛リノ者共死傷アリテ無変ナル者ハ唯一人
ノ此後程ナクニテ諸屋場多クハ放銃ヲ止メタリ諸船ハ其
処ヲ離レスレイストホリス船ノ直ニツノ屋場ノ下ニ来リテ
放銃シケレハ是カ為ニ屋場ノ者共退クニ至リ尻キ船并ニケレ
テ船ヲ助ケシカ為ニ其処ニ至リ断ヘシ市街及ヒ其場ニ向テ放銃シ

タリレイストホリス船ハ九時半頃我七時其處ヲ去リユクエツテ船
ハ晚景ニ至ル迄市街ニ向テ断ヘス破裂丸ヲ放銃ス我船此ノ
如キ放銃ヲセシカ故ニ俄ニ市街ニ火炎起リ諸物ヲ尽ク焚
焼セリハホソク船モ亦日本ノ大船五隻ヲ焼製造所ヲモ焼セリ
夜ニテ風並烈シク弟十時頃賊其火熾ニシテ凡一里餘ニ定
焼セリ其火ノ響モ烈シカルヘケレモ所ヲ去テ遠ケハ聞ヘス諸物
物焼失スルノ數シキハ定テ人ヲ驚カシムルニ至ルベシ日曜日我七月三日
ノ朝ニ至リテモ市街及製造所ノ火猶ホ夕消ヘス薩ノノ蒸気
船并日本船焼失シテ海ニ沈メリ其内一隻ノ蒸気船并ノ蒸気
ヲ打沈メタリ午前十時我四時至リテ天始テ晴ルヲ以テ戦死シタル
士官ヲ葬シリ午後第二時半過我八時船隊再ヒ碇ヲ揚ケ徐ク
ニ進行シ其屋場并市街ニ向テ烈ク打放シタル屋場ヨリ

実ヲ打放スル者二十餘過ス且其実九我船ヲ傷害之ニ
 到ラス市街ノ火ハ漸ク四方ニ燒ケ廣カリ僅塞モ亦其災
 ヲ受タリ其後モ我諸船ヨリ打放スル砲彈ノ勢甚盛ナリ
 夜ニ入テ我船鹿兒島ヨリ一里ヲ隔テ小村落アル処ヲ離レテ
 碇泊ス

一千八百六十三年八月十七日我父三年癸亥七月四日鹿兒島港

ニアル英國ノコルギリマ船中ニテ記ス

一千八百六十三年八月十日我父三年癸亥七月二日鹿兒島ニ於テ戦
 シ各船隊ニ乘リ廻タル者死傷表

エールヤリマ船中

第一船將 千ヨシリン

三十三歳戦死

第二指揮官 山井トト

二十歳同上

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 第三某官 カルトチー | 二十三歳同上 |
| 第四同上 フレシク | 二十三歳同上 |
| 第五同上 リントセイ | 十九歳 <small>十九</small> 同上 |
| 第六同上 ワレン | 二十五歳同上 |
| 第七同上 スミツト | 二十四歳同上 |
| 第八同上 ヤルテリ | 十九歳 <small>深手ヲ得</small> 同上 |
| 第九同上 千ヨシホウキ | 十七歳同上 |
| 第十 千ヨシグ | 二十二歳 <small>浅手</small> 同上 |
| 第十一 千ヨシセウ | 二十六歳同上 |
| 第十二 某官 千ヨシス | 二十八歳同上 |
| 第十三 同上 千ヨシト | 二十歳同上 |
| 第十四 同上 千ヨシツシ | |

第十五同上 子キツト
 第十六同上 シキニテ
 第十七同上 シラトセ
 第十八同上 シヨルレロト
 第十九某官 サミエトホツタ
 第二十同上 オオム
 第二十一同上 シウヘルツ
 第二十二 厄人 ヘツエウ
 第二十三某官 ホツク
 第二十四 無官 ホウシ
 第二十五 同上 シリ
 第二十六 大砲方 セル

二十歳同上
 十九歳同上
 二十二歳同上
 二十三歳同上
 二十二歳同上
 十九歳同上
 十九歳同上
 四十七歳同上
 十九歳同上
 二十六歳 深手
 二十一歳 同上
 二十五歳 浅手

第二十七 艦下 ヲシチール
 第二十八 某官 シシテケ
 第二十九 同上 バルト。レット
 第三十 同上 アレキサンド
 第三十一 同上 シットセル

二十四歳 同上
 二十三歳 同上
 十九歳 同上
 十九歳 同上
 三十七歳 同上

ペール船中

第三十二 近 エムストロシ
 第三十三 隊長 長 フレイト
 第三十四 大砲方 フアルシ
 第三十五 某官 メルセル
 第三十六 同上 ロシクシ
 第三十七 同上 トフウシ

三十八歳 浅手
 四十四歳 深手
 十八歳 同上
 二十六歳 浅手
 二十一歳 同上
 三十二歳 同上

弟三十八 伊三等 船中

十七歳同上

ユウエツテ船中

弟三十九 大砲方 上 七等

二十七歳 戦死

弟四十 乗官 上 七等

二十九歳 深洋死

弟四十一 大砲方 上 七等

二十六歳 深洋

弟四十二 乗官 上 七等

三十歳 同上

弟四十三 同上 上 七等

三十五歳 同上

弟四十四 同上 上 七等

十七歳 浅洋

ヘルシウス 船中

弟四十五 第二 砲方 上 七等

十六歳 深洋 死

弟四十六 同上 上 七等

二十三歳 浅洋

弟四十七 同上 上 七等

二十三歳 同上

弟四十八 乗官 上 七等

四十歳 同上

弟四十九 同上 上 七等

十七歳 同上

弟五十 同上 上 七等

二十九歳 同上

弟五十一 桶工 上 七等

二十五歳 同上

弟五十二 乗官 上 七等

二十七歳 同上

弟五十三 同上 上 七等

二十一歳 同上

弟五十四 同上 上 七等

二十六歳 深洋

アルキメス 船中

弟五十五 乗官 上 七等

三十一歳 浅洋

弟五十六 同上 上 七等

二十九歳 同上

弟五十七 同上 上 七等

二十歳 同上

弟五十八 乗官 上 七等

二十二歳 同上

弟五十九某官 手レルケトシ
弟六十同上 クレクル
二十歳同上
四十歳同上

レノスホルス船中

弟六十一某官 十レルロシ 二十八歳ノ子

弟六十二某官 十レルロシ 二十八歳ノ子

弟六十三同上 ヤレルケトシ 十九歳同上

上三拳ケル死傷ノ巨細書

上三拳ケ第一者ハ脳蓋ヲ碎カル

同第二者ハ脳蓋ノ後部ヲ打碎カル

同第三者ハ脳蓋及腮ヲ碎カル

同第四者ハ脳髓ヲ破ラレ

同第五者ハ同上

同第六者ハ脳蓋ヲ碎カル

同第七者ハ同上

同第八者ハ同上

同第九者ハ胸膈ヲ破ラレ

同第十者ハ破裂丸ニテ胸膈ノ右部ヲ破レ肋骨及ヒ

肺ヲ破リ腕ヲ碎

同第十一者ハ破裂丸ニテ右肩ノ淺キヲ得テ其穴勢ニテ面

部ヲ燒キ又種々ノ薄キヲ得ル

同第十二者ハ破裂丸ノ碎片ニテ背ヲ得又脚ヲ傷フ

同第十三者ハ破裂丸ノ碎片ニテ面部ヲ得又腕ヲ火傷

セリ

同第十四者ハ破裂丸ノ碎片ニテ面部ヲ得又其穴勢

テ火傷セリ

同弟十五ノ者ハ碎片ヲ腕中リテ疵ヲ得又左腕ノ内部ヲ傷フ

同弟十六ノ者ハ火薬ニテ面部ヲ燒ク

同弟十七ノ者ハ碎片ニテ頭上ニ剣ヲ得ル

同弟十八ノ者ハ右腕ニ傷キヲ得ル

同弟十九ノ者ハ両腕脛下及ヒ脚下薄キヲ得ル

同弟二十ノ者ハ左脚ニ傷キヲ得ル

同弟二十一ノ者ハ彈丸ノ碎片ニテ頭上及左足ニ疵ヲ得ル

同弟二十二ノ者ハ左腕及服部ニ傷キヲ得ル

同弟二十三ノ者ハ右脚下ニ浅キヲ得ル

同弟二十四ノ者ハ破裂丸ニテ面部ヲ殺シ

同弟二十五ノ者ハ破裂丸ニテ右服ヲ傷キ顔服及腕ヲ火傷シ
タリ

同弟二十六ノ者ハ碎片ニテ胸部ニ傷キヲ得ル

同弟二十七ノ者ハ左腕ニ浅キヲ得破裂丸ノ碎片ヲ執ルテ指

指及面部ヲ火傷シタリ

同弟二十八ノ者ハ碎片ニテ左足ヲ破ル

同弟二十九ノ者ハ破裂丸ノ火勢ニテ面部ヲ燒ク

同弟三十ノ者ハ左腕ニ浅キヲ得ル

同弟三十一ノ者ハ破裂丸ノ碎片ニテ足ヲ傷キ其火勢モテ面

部ヲ火傷セリ

同弟三十二ノ者ハ碎片ニテ顔及足ヲ傷ク

同弟三十三ノ者ハ碎片ニテ面部及左服ヲ傷ク

同弟四〇者、八碎片ニテ腎及両足ヲ傷ク
 同弟四一者、八碎片ニテ蹠ヲ傷ク
 同弟四二者、八碎片ニテ腓腸及脚ヲ傷ク
 同弟四三者、八同トテ指ヲ傷ク
 同弟四四者、八砲丸ニテ咽喉ヲ破ル
 同弟四五者、八同トテ右股ヲ破ル
 同弟四六者、八實丸ニテ左膝ヲ傷ク
 同弟四七者、八同トテ左脚ヲ傷ク
 同弟四八者、八股淺キヲ得ル
 同弟四九者、八左股淺キヲ得ル
 同弟五〇者、八両脚ヲ碎ク
 同弟五一者、八右股淺キヲ得ル

同弟五二者、八破裂丸ニテ右ノキヲ火傷ス
 同弟五三者、八右ノキニテ指ヲ傷ク
 同弟五四者、八碎片ニテ右ノキニテ指ヲ傷ク
 同弟五五者、八右ノ腕ヲ破ル
 同弟五六者、八碎片ニテ左腕ヲ傷ク
 同弟五七者、八同トテ左蹠ヲ傷ク
 同弟五八者、八同トテ両腕ヲ傷ク
 同弟五九者、八右腕ヲ碎キ右股ヲ傷ク
 同弟六〇者、八同トテ面部ヲ傷ク
 同弟六一者、八同トテ脚ヲ傷ク
 同弟六二者、八同トテ
 同弟六三者、八同トテ腕ヲ傷ク

同弟之字者、同トミ、向部ヲ傷ク
同弟之字者、左腕ノ節ヲ損ス
同弟之字者、右ノ大指ヲ傷ク
同弟之字者、右腕ノ後手ヲ傷ル

クーロク并共會社ノ用板

